

# かえり道 さそい道

前住からの法座お誘い状 第5号

## ●さそい花

※春の開花前線といえは桜のこと。南からゆつくり北上します。

※秋の開花前線といえは彼岸花のこと。北の地方から咲き始め、速いスピードで南下します。まるで日本中に「お彼岸ですよ、おまいりしましょ〜…」と急ぎ足で人に触れ回るかのように。

## ●毒花・しびれ花

※この花の別名は千以上あります。おどろおどろしい名前と呼ばれるのは、この花の球根に強い毒があるからです。

※この花が田んぼの畦道で群れて咲くのはその毒を利用して、田んぼをモグラやネズミから守るために人の手で植えられたからです。

※球根にはデンプンも多く含んでいます。飢饉の時、水にさらして毒を抜き、いざとなったら非常食にするために植えたとも…(毒抜きは簡単ではありません。命懸けの非常食です。)

## ●死人花・幽霊花

※山の墓地にたくさん見るのも、土葬の遺体がモグラやネズミなどによって掘り荒されるのを防ぐために植えられたからです。

## ●相思花

※美しい名前も持っています。

※花と葉が同時に出来ないことから「花は葉を思い、葉は花を思う(お互いを相い思う)」という意味で「相思花」とも呼ばれます。



## ●曼珠沙華

※曼珠沙華の名はお経からつけられました。サンスクリット語で、「manjusaka(天界に咲く花)」と書きます。お経の中では「おめでたいことがおこる前兆」にこの花が天から舞い散ります。

## ●彼岸花

※さまざまな名を持ちますが、「彼岸花」こそ最高の名称でしょう。

※「彼岸(彼の岸)」とは「到彼岸」の略。此岸(迷いの世界)から彼岸(お悟りの世界)に到るという意味です。

※最上の季節をお彼岸と名づけ、毒花を彼岸花と名づけた大和人の豊かな宗教心を思います。

※彼岸花に皇后様がそつと寄せられた絶唱です。

## 彼岸花

咲ける間の道をゆく

行き極まれば

母に会ふらし

平成皇后

※本堂の如来様があなたのお越しをお待ちです。

(平成29年 讚仏(彼岸) 会法要 前住職)